

# 低栄養患者の診断基準

栄養は治療のすべてにおいての基本です。低栄養状態では治療効果もあがりにくく、感染の危険性や褥瘡の発生率も高くなります。

そこで、当院では入院患者様の栄養管理を行う目的で栄養サポートチーム（NST）が組織されました。今回は栄養状態把握のために「低栄養患者の診断基準」をご紹介します。

## 1. 血液検査による診断

- 血清アルブミン（Alb） 蛋白質不足
- コリンエステラーゼ（ChE） 蛋白質・エネルギー低栄養状態で低下
- ヘモグロビン（Hb） ビタミン欠乏・鉄欠乏性貧血のチェック
- 総リンパ球数（TLC） 栄養状態と相関して増減する

	正常値	軽度栄養障害	中度栄養障害	高度栄養障害
Alb (g/dl)	4.0 ~ 5.0	3.0 以下	2.0 ~ 3.0	2.0 以下
Ch-E (IU/l)	M:242 ~ 495 F:200 ~ 459		50 ~ 100	50 未満
Hb (g/dl)	M:13.5 ~ 17.6 F: 11.3 ~ 15.2		7 ~ 9	7 未満
TLC (/μl)	2,000 以上	1,200 ~ 2,000	800 ~ 1,199	800 未満

(注) 当院、評価の為の参考値

## 2. BMI(体格指数)による診断

$$BMI < 16$$

体重減少 5% / 1ヶ月

\* BMI(ボディ・マス・インデックス)とは、肥満度の判定方法の1つで指数を評価します。BMI 指数の標準値は22です。統計的に一番病気にかかりにくい体型で、標準からは離れるほど有病率は高くなります。体脂肪率とも相関しています。

$$\bullet \text{ BMI} = \text{体重(kg)} / \text{身長(m)}^2 \quad \bullet \text{ 標準体重(kg)} = \text{身長(m)}^2 \times 22$$